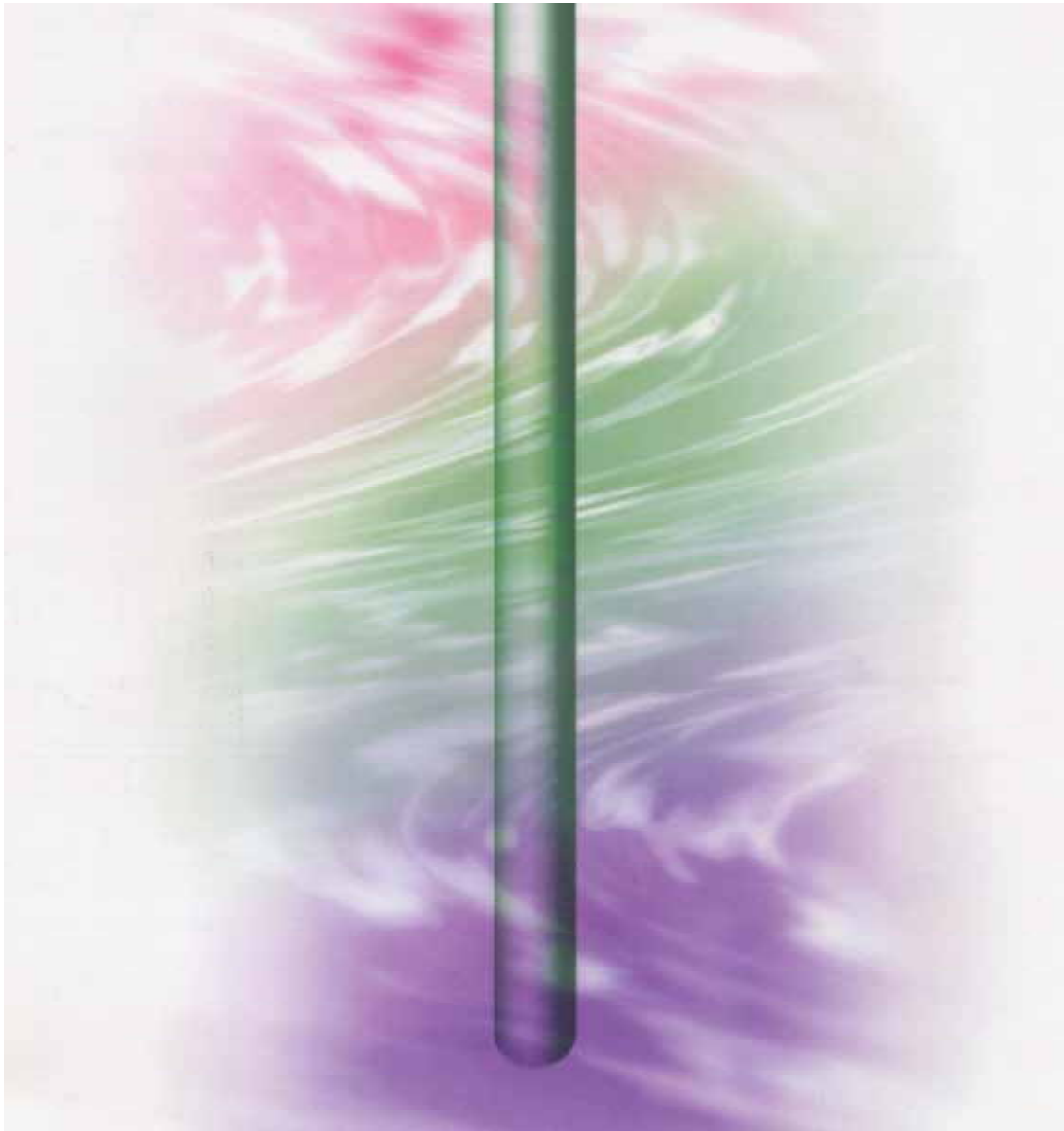


セ ン サ ー

2008年 1月号 第41号

東京温度検出端工業会 会報



年 頭 雑 感

2008年1月

会 長 林 正 樹

皆様明けましておめでとうございます。平素は会の運営にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

このところ緩やかな回復基調が続いた日本経済も、昨年来の米国サブプライムローン問題の影響で原油や金の高騰や円高(というよりドル安でしょうか)等で、1月4日の大発会から株が下がり続け、波乱含みのスタートになりました。全容が見えないだけに先行きに対し何か不安な感じがしますし、更に言えば巨大な投機マネーの動きに実体経済が翻弄されているようで、とても嫌な感じがします。なんとか今以上には悪くならないで欲しいものです。

冒頭から余りお目出度くないことを書きましたが、一方で嬉しいこと、頼もしく感じるがありました。ひとつはこのところ当工業会の会員数は減少傾向にありましたが、昨年久し振りに(株)アイコス殿が新たに入会され、会員数が23社になったことです。もうひとつは昨年11月から始まりました工業会主催の「温度計実務講座」(確かこれで4期目だと思います)に関するのですが、参加者が思った以上に多く、当初予定していた部屋には入りきらず、急遽広い部屋に変更する程でしたし、参加した若い方々からは知識を吸収しようという熱意が感じられ、殆どが初めてお目にかかる方ばかりでしたが、この方々が10年後、20年後のこの業界の中心になって活躍して下さるのかと思うと、とても頼もしく感じられました。

固い話はこのくらいにして、一昨年に続いて私の好きな落語のお話をさせていただきます。今年はお店(たな)の若旦那が出てくる「唐茄子屋(政談)」というお噺。今演じるひとは殆どいません。季節は夏の噺です。これは古今亭志ん生さんが得意にしていた噺で、次男の志ん朝さんや円生さんも演じていましたが、志ん生さんのが断然良いと思います。志ん朝さんといえは亡くなくても何年でしょうか、父親の志ん生さんとも違う、正統派で男の色気を感じさせるすっきりとした江戸前の芸で、惜しいことでした。

それで「唐茄子屋」ですが、大店の若旦那がお決まりの吉原に通いつめた拳句勘当になってしまいます。「お天道様と米のめしはついて回るんだ」と咬呵を切って家を飛び出し、吉原の花魁のところ行くとそこはそれ、向こうも商売ですから適当にあしらわれて追い出されてしまう。「傾城(けいせい、遊女のこと)の恋は誠の恋ならで、金もってコイがほん(本当)のコイなり」って学校じゃあまり教えてくれないことが志ん生さんの噺には随所に出てきます。世話をした幫間のところ行っても長くはいられない。しまいには野宿の生活。とうとうお閻魔様の死んだんじゃないが行き所がなくなって吾妻橋から身を投げよう、というところを通りかかった叔父に助けられて叔父の家に連れていかれる。ここに出てくる叔父さん、叔母さんがいい人なんですね。口では厳しいことを言っても甥のことが心配でしょうがない。

ここで叔父さんが甥のために商売を考えてくれたのが肩に天秤をかついで唐茄子(かぼちゃ)売り。最初は「若旦那が唐茄子売ってたなんて、みっともなくって」と嫌がったのを叔父さんからこっぴどく叱られます。「手前で稼いだ金を自分で使え、人は何も言わないんだ、お前のように店の金を使い込んだりするから勘当になるんだ。俺はお前の親父とは兄弟だが、野暮なことはいわないんだ。叔父さん、お金がこれだけ貯まりましたが、吉原に行ってもいいでしょうか、って聞いてみな、反対するどころか一緒に行ってやるよ。」「一緒に行ってくださいか...今夜?」「今夜じゃねえ!」って、この若旦那も本当に反省してるんだか、してないんだかよくわかりません。

そうして真夏の炎天下、唐茄子を売りに出ますが、初めてのことであり、担ぐだけで精一杯、簡単に売れるものではありません。志ん生さんも自分がまだ売れない頃、家族を養うために納豆を売って歩いたことがあって、いくら寄席で声を出していても売り声は全く別物で、最初は声なんか出やしません、と自分の経験を語っています。若旦那も売れずに困っていると、下町の親切な人が代わりに売ってくれ、残った1つを売り歩きながら、遠くの吉原の屋根を見て自分が盛んに吉原で遊んでいた頃を思い出す、結局若旦那のご勘当が解ける「唐茄子屋政談」の上でございます。(続きもありますが、長いのと噺が暗くなるので志ん生さんは大抵、ここで噺を止めています。)志ん生さん自身、十代の頃から悪さ(子供の頃から酒を飲んだり、親の年金証書を質入して遊んでしまった!)が過ぎて家を勘当されたので、この若旦那に自分を重ねてこの噺を演じていたようです。興味がおありでしたら、お聞きになってみて下さい。

それでは今年が皆様にとりまして良い年でありますよう、お祈り申し上げます。

会の動き

- 平成 19 年 2 月 2 日 講演会 ... 参加者 25 名 (22 社・団体)
会場：石福金属興業(株) 8 F 会議室
内容：「レアメタルの動向」
講師：東京大学助教授 生産技術研究所 岡部 徹 氏
- 平成 19 年 2 月 2 日 新春懇親会 ... 参加者 36 名 (24 社・団体)
会場：秋葉原「肉の万世」
- 平成 19 年 4 月 12 日 第 32 期第 4 回理事会
議題 定時総会・懇親会結果報告
第 33 期定時総会、内容について
勉強会、開催検討
技術懇談会、開催検討
- 平成 19 年 5 月 23 日 第 33 回定時総会 ... 参加者 29 名 15 社
会場：霞ヶ関東海倶楽部 (霞ヶ関ビル 33 階)
議題 第 33 期事業報告及び収支決算報告

第 34 期事業計画案及び収支予算案審議

理事会任期満了による改選投票

新理事会（五十音順）

石福金属興業(株)、(株)岡崎製作所、田中貴金属販売(株)、
(株)奈良電機研究所、(株)西林電機製作所、(株)ニッカトー、
日機装サーモ(株)、二宮電線工業(株)、林電工(株)、
山里産業(株) ... 全 10 社

- 平成 19 年 5 月 23 日 第 34 期第 1 回理事会
新理事会にて新会長選出。出席全理事会社にて推挙。林電工(株)
林社長に第 6 代会長を継続して就任頂くことで決定。
- 平成 19 年 5 月 23 日 懇親会 ... 参加者 31 名 15 社
会場：霞ヶ関東海倶楽部（霞ヶ関ビル 33 階）
- 平成 19 年 6 月 20 日 第 52 回記念技術懇談会 ... 参加者 17 名（12 社・団体）
会場：都立産業技術研究所西が丘庁舎 4 F 第 4 会議室
内容 所内見学：新型の熱電対自動校正装置
金属炭素共晶点(Co-C)実現装置
デザインセンター（環境試験センター）
事業説明（移転計画等） 都産研 尾出氏
JCSS 登録（電気）の概要について 都産研 水野氏
金属炭素共晶点実現装置の概要と特性 チノー 相川氏
熱電対自動校正装置の概要 都産研 沼尻氏
- 平成 19 年 7 月 5 日 第 34 期第 2 回理事会
議題 定時総会・懇親会結果報告
第 52 回技術懇談会結果報告
第 34 期・35 期事業担当理事会社割り振り
勉強会開催について
入会希望会社紹介及び入会賛否について
幹事会社の選出・指名
- 平成 19 年 7 月 18 日 新会員会社入会 株式会社アイコス 殿
会員会社数 23 社となる
- 平成 19 年 9 月 6 日 第 34 期第 3 回理事会
議題 新会員入会手続き完了
実務講座開催について
H19 年度工場見学会原案検討
都産研より講習会の案内

第 53 回技術懇談会の件

平成 19 年 11 月 2 日 第 53 回記念技術懇談会 ... 参加者 12 名 (9 社・団体)
第 124 回温度計測部会との共同開催
- センシングシステムの最近の動向と温度計測技術の進歩 -
会場：都立産業技術研究所西が丘庁舎講堂
内容 東京都立産業技術研究センターの紹介 都産研 井上氏
ユビキタス・センサ NW と温度計測 電気通信大学 新 氏
13.56MHz 帯センサ付 RFID による温度測定システム
沖電気 坂梨氏
大規模に分散したセンサのネットワーク技術
産総研 大場氏
サーモグラフィー装置を使用した応用計測
NEC 三栄 田淵氏
赤外線センサを搭載したルームエアコンの開発
三菱電機 日高氏

平成 19 年 11 月 8 日 第 34 期第 4 回理事会
議題 都産研講習会結果報告
第 53 回技術懇談会結果報告
H19 年度工場見学会について
温度計実務講座について
新春懇親会原案検討

平成 19 年 11 月 14 日 一日工場見学会 ... 参加者 22 名 (31 社)
見学先：足利工業大学 (栃木県)
富士重工業(株)群馬製作所矢島工場 (群馬県)

一日工場見学会報告

(株)ニッカトー 川又直紀

今回、初めて東京温度検出端工業会の工場見学会に参加させて頂きました。当日は天候もよくやや暖かさを感じられる陽気で、時間をかけて屋外の見学もできました。

午前は栃木県の"足利工業大学 風と光の広場"に訪問しました。ここでは風や太陽といった環境に負荷を与えない自然エネルギーを利用した機器、設備を見学しました。太陽の光を利用したソーラークッカー (写真 1) は太陽光の集め方で煮たり、焼いたりできる機器で、発展途上国では実際に使用されているそうです。これによって、調理に使用される薪を削減し森林資源を保全する手段の一つとして期待されています。次に屋外で風力発電用の風車を見学しました。ここでは風車に太陽電池パネルを取付けて相互に発電するハイブリッドシステム (写真 2) が展示されていました。太陽光と風力の相互補完関係で効率的な発電が可能か研究の最中との事でした。身近な物がこのよ

うな形で有効に活用されている事を知ることができました。



写真 1 (ソーラークッカー)



写真 2 (風力発電用風車)

午後は群馬県の"富士重工業(株)群馬製作所 矢島工場"に訪問しました。ここは、主に普通乗用車(レガシイ、インプレッサ、フォレスター)を生産する工場で、実際の生産ラインの見学、ビジターセンター内でスバル車の詳細な技術の紹介を受け、過去の生産車を見ることができました(写真3)。富士重工業(株)の前身は中島飛行機という航空機メーカーであり、ビジターセンターの外には運用が終了したジェット練習機T-1(写真4)も展示されており、技術力もある会社であると感じました。自動車生産ライン前半では殆どが自動化されており、人が作業するのは後半の車体への電気系統やエンジンの組み込み、完成車両の試験でした。生産ラインがコンピューター制御されておりラインを流れる車は同じ物はありませんが、それを正確に組立てる作業に驚きました。また、環境に配慮した取り組みも積極的に行われていて使用済みの車から鉄をリサイクルし、他の残りくずの75%もリサイクルしており、ごみの排出を大きく減らしていました。



写真 3 (スバル360)



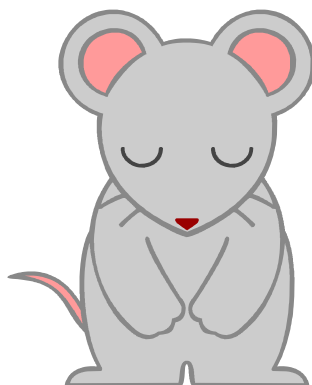
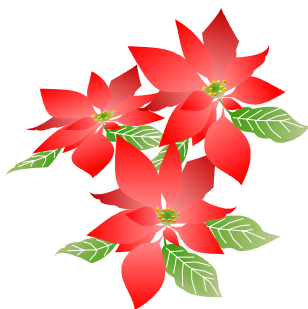
写真 4 (T-1 練習機)

今回の工場見学では地球環境の保全に関して、研究の分野と生産分野のそれぞれの取り組みを見ることができました。我々の次の世代にも緑豊かな環境を引継げるよう、地球環境について再度考える機会になったと思います。

平成 19 年 11 月 20 日 H19 年度温度計実務講座（第 1 回） ... 参加者 46 名（16 社・団体）
会場：文京シビックセンター 3 F 会議室 1
内容：温度計の基礎
温度標準の起源と国際温度目盛（ITS-90）
トレーサビリティの役割（計量法）
不確かさが保証された温度計（JIS 規定、計量法）
温度測定的方式（JIS Z 8710（温度測定通則））

編集後記

巻頭の会長のお話でも触れておりますが、ただ今温度計実務講座を開催しております。先日（平成20年1月25日）も第2回を実施致しました。こういった勉強会の運営は私自身初めての経験で、会場の手配や時間管理などの面でうまく行かないところがあり、講師の先生や参加される生徒の皆さんにご迷惑をかけて申し訳なく思っております。徐々に改善して参ります。また、講義の内容も第2回からは製品使用事例も盛り込まれ、興味深いものになっております。途中参加も受け付けますので是非とも多数の参加をお待ちしております。



平成 20 年 1 月 発行 41

発行所 **東京温度検出端工業会**

事務局

〒 112-0012 東京都文京区大塚 5 - 7 - 1 2
NKビル新大塚 2 F （株式会社ニッカトー内）
電話 03 - 5978 - 3500
FAX 03 - 5978 - 3504